

つきたい力

- 必要な情報を効果的に集める力
- 集めた情報を活用して課題を解決しようとする力
- 集めた情報を整理し、わかりやすく伝える力

取組みの概要・ポイント

- 学校図書館を有効的に活用し、情報活用能力を高める。
- 全教科で表現力育成のアプローチを行い、教科横断的な課題探求型の学習活動を追求する。
- 考えるための技法として「思考ツール」を活用する。



取組み紹介

具体的な取組みの内容

学校図書館を活用した授業づくり

①図書館利用指導

- 本の並び方について、本探しや図書館の地図づくり等を通して指導する。
- 2・3年生「図鑑」、4年生「百科事典」、5年生「年鑑」での調べ方を指導し、出典の書き方、著作権についても触れる。



図かんでしらべてみよう

図かん—どうぶつや しよくぶつなど おなじしめるいものをおつめて しやしんや えで せつめした本

「なかま」がわかっているときにつかう

「なまえ」がわかっているときにつかう

さあ、しらべてみよう!

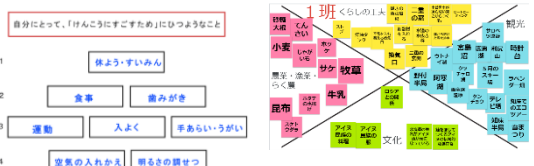
①アラスカペンギン2匹の からの いちは なにいろですか?  
あいろ と い

②右の こん虫の なまえを しらべましょう

③シリボシカミキリについて、しらべましょう  
大きさ ( ) mm  
見られる させつ ( )

②思考ツールの活用

調べた情報を思考ツールを使って分類し、整理することによって、そこから分かることがより明確になる。



今年度の  
取組み報告は  
こちら⇒



本に親しむ場づくり

1.秋の読書月間

【10/20(金)～11/12(日)】

①「先生のおすすめ本」

教員がすすめる本の紹介文を掲示し、読書の幅を広げるきっかけをつくる。

うちど

②「家読カード」

期間中に、家読を推進。  
5回以上は行えるよう啓発。

2.司書による読み聞かせ、  
地域ボランティアによるお話会の実施

図書時間に司書の読み聞かせや本の紹介を行っている。今年度は数年ぶりにコロナによって中止していた地域ボランティアによるお話会を全学年実施してもらった。



読書月間をきっかけに  
家読みを継続して実施



取組みを通しての子どもの変容

集めた情報を「思考ツール」で整理することを学んでから…

わくわく問題をもとに作成したハニナンわくわく問題正答率  
(「資料の情報を整理して伝える」「分類する」問題)

1 学期	2 学期
1.01	2.82

正答率アップ↑

「集めた情報をもとに自分の考えを深めたり、広げたりしている」肯定的回答  
※対象学年：3年生以上

R4年度 (学年末)	R5年度 (2学期)
67%	75%

肯定的回答アップ↑

情報をもとに  
考えることができる自分を  
子どもたちも実感している。

※わくわく問題での正答率を1とした場合